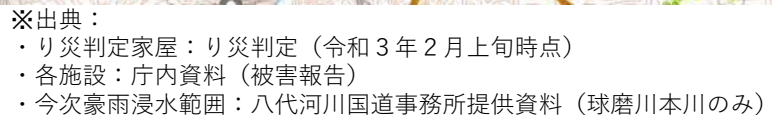


凡 例	
今次豪雨の被災状況	地区内の町
● り災判定家屋	河川
● 各種公共施設	道路
● 公民館、消防団詰所	その他の施設等
● 文化財	
○ 道路、橋梁	
○ 河川	
○ 上水道	
● 公園	
● 農地・農業関連施設	
— 林道	
■ 今次豪雨浸水範囲	



項 目		中原校区の主な課題や要望について
避難対策	避難場所	・大柿は中原コミュニティセンターに変えた。小柿は西瀬小学校で、雨が降った時に逃げる所がない。 ・公民館に避難所を立ち上げた。本当は高台の中原小学校へ逃げたいが、大柿までの道が毎年崩れる。いつも早めに避難している。今回は声がけて2時に公民館へ避難し、更に西瀬小学校へ避難した。 【小柿】 ・基本は中原コミュニティセンターに避難する。車を持っている人は中原小学校の駐車場に避難する。 ・各町内で自主避難場所を連携できると良い。 ・中原小学校の避難所としての活用を考える。
	要支援者対策	・特に高齢化が進んでいる。【大柿】
	避難誘導	・避難路・避難所の共有や周知が必要。コミュニティセンターまで避難できない。 ・避難路の必要性。勾配が急だが、検討の可能性あり。
	道路	・あげだん坂を車で通れるように広くして欲しい。ここを避難するのが安全で速い。
生業再建 住まい再建	生業再建	・農地の売買ができない。農業だけしかできない土地だ。国も知っているのに、簡単に買収して遊水地にはできない。そこの兼ね合いをどうするか。【中神】 ・市は農地復旧という。城本は温泉がある。どちらをどう考えるか。 ・集落営農をしてきている。農業機械も機械小屋、工場（こうば）を取るようになっている。 ・温泉をしている人で観光農園をしようとしている人もいる。 ・生活圏が重要。田・畑を全部無くしてどうするのか。
	住まいの再建	・補償がどうなるかわからない。 ・移転しても税金がどうなるかわからない。免除してもらえるとよい。 ・アパートまで入れて90世帯のうち8世帯が被災した。2世帯だけ帰ってきた。町内を考えた時に、浸水した世帯とそうでない世帯があり、町内でも地区により住民の温度差がある。【馬場、段】 ・現地でリフォームを進めている人と、中断している人がいる。 ・地元の人は町内を変わりにたくない。 ・宅地の嵩上げは自分でしてくださいと言われている。 ・移っても町内会費を払い続け、関わる人もいる。公費解体後に考えるとして、様子見している人もいる。
	復興まちづくり	・交渉委員が町内に4～5名いる。集落再生委員としてはどうか。 ・国・県・市の横の連携が必要。前提が定まらない。 ・中神、大柿の土質は変わらないだろう。田の表土から下2mぐらいはハマ土とシラスを混ぜた土。その下は川砂利になっている。【大柿、中神】 ・中神城本は簡単に売れない土地だ。住民に納得のいく説明がないと動いていけない。 ・高台を作って欲しいという要望がある。 ・高台にいい場所がない。時間がかかる。 ・高台がどこか、具体的に示して欲しい。 ・嵩上げを示して欲しい。 ・大柿地区の高台への移転の可能性について、具体性を持って示してほしい。 ・50世帯のうち10世帯しか残らないとしたら、集落を維持できない。どうするか。 ・世帯数が大きく減った場合、どう地域（町内）を保って行くのか ・悩みが解消しないと、まちづくりの話ができない。 ・市は「農地復興をする」と言うが、国は「遊水地にする、住民は高台に移転してください」と言い、遊水地ありきで話が出ており、筋が通らない。住民に対してどう話したら良いのか、どちらを考えていけば良いのか。そこを汲んで欲しい。 ・国の遊水地計画が見えてこない、先々の話が進められない。 ・生活圏が大きく変わる（移転）ことに対しての不安がある。
治水 環境共生	治水 環境共生	・農道、市道を高くして、遊水地を限定してもらえるとよい。 ・掘らないで、普段農業をしながら遊水地にする地役権方式がよい。 ・万江川は泥の下から擁壁が出てきた。土砂を取ったことを無視していた。取ったことをどう思っているのか。定期的な土砂掘削が必要。 ・万江川の堆積土砂、堤防の整備時期を確認。 ・河道掘削は定期的に必要（堆積土砂の問題）。 ・小柿谷の砂防ダムがある。